

惨状一人・仕事は消え、避難者は増え続ける

2・26

被災状況

死者 1万5853人 (前日比同じ)

行方不明 3282人 (前日比同じ)

避難者 (2・9現在) 34万2509人

●汚染土壌中間貯蔵施設 地元意見交換会 (細野環境相・平野復興相 vs 地元8町村長) — 3町長欠席で流会 (2・27M)

●「東海第2原発」廃炉求め「人間の鎖」 (茨城県東海村、約700人)
(2・27M、T)

→2・27 A「水産加工 遠い復活・東日本大震災1年—地盤沈下で戻らぬ水揚げ、風評被害 追い打ち」

→2・27 M「『福島に残る』—警戒区域の部品メーカー、不安抱えつつ『従業員裏切れぬ』 「大震災1年—人・仕事消える、福島・南相馬—津波、大企業でも明暗—廃業・事業停止、企業なお不透明」 「『開発は継続』スイス選択、推進派巻き返し—福島事故直後に『脱原発』方針のはずが—『新世代の炉はOK』主張も、5割依存…代替妙案なく」

→2・27 Y「建屋無残・汚染水タンク1000基 (約12万トン)—第1原発上空 飛行禁止区域縮小」

／N「建屋むき出し、がれき残る街—福島第1飛行禁止区域縮小—原発3キロ圏、人影なく」

→2・27 T「除染負担 募る不信、高線量抱える千葉など反発—国の基準なら対象外続々—私立幼稚園、町会など、自主実施も適用除外」 「被災地・いわき、かもめの視線で記録—震災風化させない、津波 風景—変させた」 「情報発信が自分の役目—DVDや写真集発売、被災者にも貴重な映像—空撮影・酒井英治さんの思い」

→2・27

各紙社説、論説

A 「原発の再稼働—需給見直しの精査が先だ」／中国総局長・坂尻信義「風・中国・重慶から—腹心の『駆け込み』、剛腕トップ 霧の中の闘争」

M 「大阪の教育条例—徹底した論議が必要だ」／「鳥インフル研究—推進と安全策の両立を」／「核心—原子力安全庁（田辺文也氏）／核テロ対策（阿部信泰）」／山田孝男「風知草—どこで間違えたか」

Y 「衆院選 抜本改革—現行制度の問題点を洗い出せ」／「暴力団対策—市民の安全前提に摘発強化を」

N 「金融緩和テコに 国と企業は改革急げ」／本社コラムニスト・上谷貞夫「核心—鉄の女は間違えたか、『民間の稼ぐ力』解き放つ」

T 「自宅で暮らす安心を—介護と医療の役割」

H 「『一体改革』—ブレーキが壊れた増税マシン」

「辺野古は唯一可能な方法」—押付け終始の野田首相

2・27

野田首相、仲井真知事と会談（沖縄県庁）—野田首相、普天間固定化の回避を強調し、名護市辺野古移転が「唯一可能な方法」と理解を求め、仲井真知事は、普天間切り離しを「パッケージを外して できるものから取り組んでほしい」、移設問題では「(民主党政権が)『悪くとも県外』と言いながら 辺野古に戻ってきたことについて納得いく説明を受けていない」と県外移設を求めた—
／会談後の知事（記者団に）「(県外移設の) 主張を変えるつもりはない」
(2・27 A 夕)

→2・27 A 夕 「首相に『帰れ』 怒る沖縄—変わらぬ政府に冷めた空気も」
／M 夕 「普天間移設、首相『辺野古が唯一有効』—沖縄知事、『県外』譲らず—迷走を陳謝」 「首相・沖縄知事会談—『移設 押しつけは差別』、県庁前で 300 人 抗議集会」

→2・28 M「普天間移設—首相『辺野古が唯一有効』、沖縄側 振興策は評価—
施設返還 道筋見えず」

→2・28 T「首相誠意 沖縄動かせず—初訪問、辺野古案 知事が一蹴—会談5
回、視察10回…」 「新基地おしつけ 怒る沖縄—首相訪問『辺野古が唯一有
効』、県民の総意に背く」 『抑止力』の呪縛、普天間基地—出口見えぬ『移
設』論—首相、辺野古に固執—知事、『県外』求める—不屈の県民、無条件撤
去こそ沖縄の総意」

2・27 水俣病認定訴訟 逆転勝訴—福岡高裁（西 謙二 裁判長）、国の認定基準を「医
学的根拠がない」と否定

→2・28 A「水俣病 認定、遺族側が逆転勝訴、国基準 高裁が否定」 「水俣病
揺らぐ基準、福岡高裁が認定判決、司法と行政 判断割れる」

→2・27 Mタ「特集ワイド、アイリーン・美緒子・スミスさんに聞く—かつて
水俣を、今福島を追う—共通する『責任逃れ』『曖昧な情報流し』、繰り返して
ほしくない『被害者の対立』」

2・27 エルピーダメモリ 倒産—半導体のDRAM製造で世界3位のエルピーダメモ
リ（東京都中央区、東証1部上場）、会社更生法の適用申請し、倒産—11年9
月末現在の従業員数5957人（2・28A）

→2・28 A「日の丸半導体 頓挫—万策尽きたエルピーダ、資金繰りも提携交渉
も失敗—国の支援 空回り」

／N「エルピーダ 更生法申請、国策半導体は頓挫—市場悪化、韓国勢に後れ
—負債4480億円、製造業最大」 「国民負担最大280億円—公的資金の回収は
困難」 『官の救済』限界映す—編集委員、西條郁夫」

自民の憲法改正案と劇場型ハシズムの異常と

2・7 自民 憲法改正原案—自民憲法改正推進本部作成→4・28 までに法案化、国会提出目指す

〈原案のポイント〉 (2・28A)

- ①天皇を「元首」と位置づける
- ②国旗・国歌は国の「表象」、国民に尊重義務を課す
- ③自衛隊を「自衛軍」とし「自衛権」を明記
- ④公益や公の秩序を害する結社は認めない
- ⑤公務員の労働基本権の制限を明記
- ⑥衆参の選挙区定数は、行政区画、地勢、交通などを総合的に勘案して定める
- ⑦財政の健全性確保を法律で義務づける
- ⑧外国人参政権を認めず「国籍条項」を設ける
- ⑨「緊急事態条項」を新設
- ⑩憲法改正の発議要件を衆参の過半数の賛成に緩和

→2・28 Y 「集団的自衛権行使認める—自民が第2次憲法改正草案」

→2・29 A 「『保守色』憲法 慎重論も—自民の改正原案、リベラル派や公明」
／Y 「自民『保守回避』で迷走—憲法改正案 決定先送り、公明からも注文」

2・27 橋下市長、教職員調査表明—教職員による「政治への不当介入」について事例調査を始めるよう「大阪維新の会」市議団に要求 (2・28A夕)

⇒2・28 教育基本条例 反対アピール—尾木直樹、山田洋次氏ら 145 人
(2・28A夕)

⇒2・28 君が代起立・斉唱義務付け条例案成立 (大阪市議会、維新の会、公明、自民 3 会派合意)

→2・29 A 「大阪市 5 労組、市庁舎退去へ」(3 月中に)—退去通告につき 不当労働行為申立ての方針

- ⇒2・28 大阪府教育条例案（教育行政基本条例案、府立学校条例案）—10 氏、再び反対のアピール（2・29H）
- 3・1 H 「『君が代』条例強行の暴挙—大阪市議会で維新・自・公、共産党は反対」 「『維新』へのすり寄り—問われる自公の姿勢」
- 3・3 A 「『ハシズム』人気を読む、口撃を受けた4氏に聞く—発期待か 不安反映か—名付け親は不明」（山口二郎、中島岳志、内田 樹、香山リカ 各氏）
- ／N 「『大阪都』の法整備 競演、衆院選にらみ 維新に秋波—自公、共同提出を検討・みんな、独自性を重視」
- 3・2 H 「統制と競争① 橋下教育条例の危険な構図、権力介入、復古派と共鳴—戦後教育の否定」 「文化の話題、橋本進一『密告』強要、負の歴史負う—橋下『維新の会』思想調査」
- 3・3 M 「橋下スタイル⊕—『会話でスパークリング』仮想敵攻撃 小泉元首相と共通点—自民も『大阪都』協力—地方自治法、改正要綱を了承」
- 3・3 A タ 「留年、中学生が考えた、橋下提言 杉並・和田中で授業—『補修すればいい』『むしろ飛び級を』—政府審議会でも過去に議論」
- 3・4 N 「風見鶏—維新の国政進出に思う—編集委員・西田睦美」

「原発安全」の虚構を暴く—民間事故調報告書

2・27

被災状況

死者 1万5853人（前日比同じ）

行方不明 3282人（前日比同じ）

避難者（2・9現在） 34万2509人

●民間事故調、報告書まとめ提言—「福島原発事故 独立検証委員会」（北澤宏—委員長）、福島第一原発の事故原因を民間の立場で調査し、提言—昨年9月以降 約300人から協力得て、東電協力拒否（2・28A）

→2・28 A 『東電、組織的な怠慢』『規制 ガラパゴス化』—民間事故調が報告書』／M「原発、官邸対応『混乱』の要因—菅前首相が強く自己主張 反論難しく—民間事故調報告書、背景に東電への不信」 「原発安全神話を指弾—検査形骸化と縦割り弊害」／Y「菅首相介入で混乱拡大、原発民間事故調報告—バッテリーサイズも自ら確認」／N「原発対応 不信の内幕、民間事故報告—首相『質問にだけ答える』、官房長官『悪魔の連鎖に』」／T「官邸主導の対応疑問、国会事故調で米 規制元委員長—リスク認め公開を」

→2・28 A 「災害関連死 1300 件超を認定—被災 3 県、『阪神』大幅に上回る」

→2・28

各紙社説、論説

A「首相沖縄訪問—負担軽減を早く確実に」／「企業年金消失—監視態勢に工夫を」／経済部・中川仁樹「記者有論—低燃費車、かけ離れた数値競争やめよ」

M「首相の沖縄訪問—『辺野古が唯一』は無策」／「G20 と欧州危機—当事者の決断促す力に」

Y「首相沖縄訪問—関係改善テコに普天間進展を」／「G20 声明—欧州は自前の安全網拡充急げ」

N「安全網強化は欧州と IMF の共同作業だ」／『『普天間』でもっと手を尽くせ」

T「首相沖縄訪問—謝罪では普天間返らぬ」／河村市長発言—なぜ素直に撤回しない」

H「受診手遅れ死—命救わぬ国保の異常をただせ」

2・28

A I J・企業年金 巨額消失判明—A I J 投資顧問、企業年金から運用を委託された資産の大半を消失（厚労省、概要公表）（2・28A夕） →2・29 から金融庁、投資顧問会社 263 社（A I J を含む）の一斉調査へ

→2・28 N夕「年金消失 88 万人影響、厚労省調べ—昨年度末 A I J 資産 1852 億円—厚生基金、運営指針見直しへ」

→2・29 A 「企業年金もらえるの?—A I J と基金に憤り、委託の割合で影響に差—積み立て不足 急増、制度自体に行き詰まり」

→2・29 N タ 「A I J 委託 2043 億円—年金など 94、大半が中小—12 月時点全容」

→3・2 Y 「A I J に怒り—『高利回りウソ』『資金残りは…』—基金側『情報 報道だけ』—リーマン後 3 年で損失 1000 億、A I J 社長」

→3・3 T 「年金基金に天下り 23 人—旧社保庁幹部」

生存権形骸化容認の最高裁と生保受給不正調査と

2・28 老齢加算廃止決定 取消請求 上告審 棄却判決—最高裁第 3 小法廷（岡部喜代子 裁判長）、廃止適法 全員一致（2・29N）

→2・29 T 「老齢加算は合憲、生活保護—最高裁が初判断、東京訴訟上告棄却—受給者側の敗訴確定—『生活ギリギリ』怒りの原告」／H 「生存権裁判 不当判決—東京訴訟、最高裁—老齢加算廃止を容認、原告『たたかい続く』」

→3・2 A 「生活保護不正、最悪の 129 億円—厚労省調査」（2010 年度 約 2 万 5000 件—総支給額 3 兆 3300 億円、不正受給分 約 0.4%—不正受給内訳、収入無申告 43.5%、年金無申告 27.7%）

2・28 被災状況

死者 1 万 5854 人（前日比 1 人増）

行方不明 3276 人（前日比 6 人減）

避難者（2・9 現在） 34 万 2509 人

●福島第 1 原発事故による放射能セシウム総量（大気中放出総量）、最大 約 4 京ベクレルの試算（チェルノブイリ原発事故放射量線量の約 2 割相当）

（2・29A）

●福島県コメ作付け条件付き方針（農水省、公表）—警戒区域と計画的避難区域、放射性セシウム（1キロ当たり500ベクレル超）が検出された地域の作付けは禁止、100ベクレル超～500ベクレル以下は出荷量の全量検査を条件に例外的に作付け認める（2・29A）

→2・29 M「福島コメ作付け—ぬぐえぬ不安と懸念—『風評被害は…』『本当に安心？』」「被災3県—農地復旧、2割弱—『二重苦』福島2%止まり」「展望見えず 迷う担い手—農業、追加出資に二の足—林業、人材確保阻む放射能」

→3・3 T「コメ作付け 消えぬ不安—全袋検査など条件付き、福島『もし基準超えたら…』」

→2・29 A「汚染灰 仮置き3.5万トン—7都県32カ所 処分進まず」「汚染灰保管 パンク寸前—千葉北西部、ごみ収集日数減も—『国は処分の行程表示せ』負担続々不信感」「細野原発相らに公費でカニ贈る—敦賀市長、国会議員11人対象」

→2・29 Y「企業向け電気料金、値上げ『転換できず』7割—本社104社調査、業績圧迫要因に—東電に強い不満」「東電値上げ 景気に重荷、対策決め手なし—コスト大幅増、素材業界『赤字は不可避』」

→2・29 N「集団移転・漁港に2500億円、復興交付金—緊急事業を優先、第1弾 週内にも決定—政府方針」「『自由度低い』不満続出、自治体—補助金との違い見えず」

→2・29 Mタ「議事録問題—『作成義務の認識不足』、管理委調査に関係省庁」

→2・29 N「消費増税へ『踏み絵』—民主執行部、新人議員 面談スタート—活動費に成果主義、反対派は反発」

→3・1 H「やっぴいけんわ…—消費税増税で町工場は、給料月10万円・単価下げられる」「消費増税 町工場は—倒産増える・悪循環だ」

→2・29 Aタ「PKO武器緩和を検討—政権、民間人保護へ改正案」

→2・29

各紙社説、論説

A 「民間事故調—原子力規制に生かせ」／「エルピーダ 倒産—安易な救済への警鐘だ」／経済部・福間大介「記者有論—落日の家電大手・デジタル時代の新戦略を」／「耕論・科学者の責任—官僚にノーを言えるプロに（吉岡 斉氏）—『危険』説明し 極論広げるな（菊地 誠氏）」

M 「エルピーダ破綻—民間の知恵で再建を」／「水俣病 遺族勝訴—救済の幕引きまだ早い」／政治部・吉永康朝「記者の目—宜野湾市長選 保守系候補の当選—苦渋の選択に真摯に向き合え」／佐藤 優「異論反論—橋下 大阪市長に注目が集まっています、危うくとも潰してならぬ」

Y 「エルピーダ破綻—韓国勢に負けた日の丸半導体」／「企業年金消失—リスク見極める眼力も必要だ」

N 「半導体復活へ向け民間主導で業界再編を」／「オリンパス 信頼回復の条件」

T 「エルピーダ破綻—半導体再建に知恵絞れ」／「民間事故調—危機に備えぬ国の脆さ」／梓澤和幸氏「秘密保全法が問うこと—内調文書 取材罰する『指定秘』」

H 「首相沖縄訪問—対米追随 浮き彫りにしただけ」

2・29

公務員給与減額 法成立—参院本会議（共・社民除く 与野党賛成）—人勧の0.23%引下げを2011・4に遡って実施、12年度から2年間、人勧含め 平均7.8%削減—給与削減分 約5800億円を復興財源に（2・29Y夕）

党首討論と極秘会談—話合い解散・大連立の思惑

2・29

党首討論—野田首相 vs 自民 谷垣総裁—10%超す消費税『必要』 必要論で
→3・1 M 「消費増税—民・自協力を探り合い—谷垣氏『小沢切り』覚悟問う」
／N 「消費増税—首相世論に活路求める、党内反対派・野党けん制」

- 3・1 N 「首相・谷垣氏 極秘会談の情報—25 日昼、両氏は否定」
- 3・1 A タ 「首相・谷垣氏、極秘会談—増税・解散巡り 意見交換か」
- 3・2 A 「極秘会談、苦肉の接近—首相、増税への協力探る—谷垣氏、解散の担保求める—民自両党からは批判」
- 3・2 M 「『小沢抜き大連立』 思惑も—極秘会談、首相は消費税重視—谷垣氏は解散前提」
- 3・2 Y 「極秘会談 思惑が交錯—首相 小沢元代表封じ狙う—谷垣氏、解散の可能性探る」 「野田政権発足半年、支持率低下止まらず—懸案で成果も、閣僚人事が裏目」
- 3・2 N 「首相、谷垣氏と先月極秘会談—反増税の小沢系けん制 『話し合い解散』 動揺誘う—自民内には賛否交錯、総裁の求心力低下も」 「欧州 進む消費税増税—仏下院 2%上げ成立／伊も 9 月—財政再建 強い決意—提案 1 ヶ月、スピード決着」

朝鮮半島情勢の進展と秘密保全法案の危険性と

2・29 米、北朝鮮 ウラン濃縮等で合意

〈合意の骨子〉

- ①北朝鮮はウラン濃縮活動、核実験、長距離ミサイル発射を一時停止する。
国際原子力機関（IAEA）要員の復帰を受け入れる
- ②米国は 24 万トンの食糧支援を提供。増量も視野に入れて米朝協議を行う
- ③米朝は 2005 年 9 月に合意した 6 者協議声明を履行する意思を再確認した
- ④米国は北朝鮮を敵視せず、関係改善の準備ができていることを再確認した
- ⑤双方は関係改善に向けた非核化の実現が ともに利益になることを確認し、対話を継続する

→3・1 A「**北朝鮮、ウラン濃縮中断**—米と合意、I A E A監視再開—米は食料支援 24 万トン」 「米朝、ズレ抱えた合意—米、核問題の突破口狙う」／Mタ
「米『プルトニウムも合意』 両国発表に相違・北朝鮮ウラン濃縮 一時停止」
⇒3・1 **韓国、李明博大統領、独立記念式典で演説**—慰安婦問題につき、「速やかに終らせなければならない人道的な問題だ」として 日本の対応を迫る
(3・1Aタ)

→2・29 M「**国会議員に守秘義務、民主が検討**—秘密保全対象を審査、言論制限の恐れ」
「知る権利 制約される—右崎正博・独協大法科大学院教授（憲法）」
⇒3・1 **秘密保全法案 反対集会**（国会内）—マスコミ 文化情報労組会議、日本ジャーナリスト会議、自由法曹団体など 18 団体（3・2H）
→3・4 M「**秘密保全法案、有識者会議 議事録なし**—『要旨のみ』、策定過程 検証困難」 「**秘密保全法案**—知る権利 懸念強く、民主党内にも異論—有識者 危険性を指摘、明確な解除規定なし」／Y「『**秘密保全法案**』提出 難航—岡田氏『国会議員に守秘義務』、『知る権利』妨げる懸念」

2・29 被災状況

死者 1 万 5854 人（前日比同じ）

行方不明 3276 人（前日比同じ）

避難者（2・23 現在） 34 万 3935 人（2・9 現在対比 1426 人増）

●**双葉町民、集団賠償請求**—福島県双葉町民 47 人が原子力損害賠償紛争解決センターへ 計 4 億 4650 万円の和解仲介を申立て（3・1Y）

→3・1 M「**原発再稼働、自治体 57% 条件付容認**—30 キロ県内、安全確保求め」
「『安全』『国策』板挟み、原発再稼働 自治体調査—規制や開示に厳格、『脱原発依存』 7 割賛成」

→3・1 T 「原発事故被害 新法制定を、弁護士ら—自主避難住民に選択権、被ばくの健康管理手帳—生命・健康『国の責務』」 「取り残される被災者、石巻を歩く—広がる仮設間格差、『賞味期限切れでもいい 食料下さい』—市周辺部、交通不便 ボランティア来ず」 「在宅でも生活困難—義援金底つき体調悪化、『前は泥かきで疲れ眠れたけど…』」

→3・1

各紙社説、論説

A 「党首討論—一体改革の道筋見えた」／「コメ作付け—農家の思い 生かすには」／事件社説担当・各務 滋「社説余滴—ときにはおせっかいを焼こう」／インタビュー「内部被曝と向き合う—東大医科学研究所医師・坪倉正治さん」

M 「原発事故調—危機管理の徹底検証を」／「党首討論—橋下さんに負けられぬ」

Y 「党首討論—一体改革でも真剣に接点探れ」／「民間原発事故調—思い教訓を規制改革に生かせ」

N 「格安航空を地方の活性化につなげよう」／「政策実現への一致点は多い」

T 「党首討論—社会保障を後回しとは」／「LCC初就航—安くても安全で快適に」

H 「秘密保全法—知る権利の侵害は許されない」

3・1

年齢調整死亡率—男女とも最少、「長生き県」は男女とも長野が最少—人口10万人当りの年間死亡者数／「年間調整死亡率」／男—全国 544.5（長野 477.3）、女—274.9（長野 248.8）（3・2Y）

3・1

被災状況

死者	1万5854人（前日比同じ）
行方不明	3276人（前日比同じ）
避難者（2・23現在）	34万3935人

●**震災倒産 628 件**（東京商工リサーチ発表）、発生から 2・末時点で一阪神大震災時の 4 倍（3・3H）

●**人権相談 491 件**（法務省発表）一被災地の震災関連 人権相談件数が昨年未までに 491 件に、差別やいやがらせ（3・2M夕）

→3・1 M夕「**汚染土・土 14 万トン滞留**—関東 1 都 6 県、処分場で拒否も」

→3・1 N夕「**町再生へ役場帰還、福島・広野 業務を再開**—『住民戻るか』懸念も」／T夕「『再生へ』役場戻る、福島・広野町—移転した 9 町村で初めて、『みんな帰ってくるか』（町民 5500 人、殆んど町外へ、これまで戻った町民 250 人）

→3・2 A「**被災地 去る工場、地元採用の従業員解雇**—自治体、誘致に懸命」「友よ故郷よ 誓いの門出、被災の 3 県で高校卒業式—同校に帰れぬまま、福島—被災体育館に校歌、宮城—12 人の名読み上げ、岩手」

→3・2 T「**全機停止中の伊方原発、再稼働の突破口『NO』**—住民ら座り込み、拡散調査警戒」「県は『白紙』・周辺自治体 動き鈍く・議会は反対派『排除』—目の前に巨大活断層、元記者 命削り廃炉訴え」 「**東京湾 泥にセシウム**—『魚介類にまず影響ないか』 風評怖い…検査強化—関係者、不安も公言できず」

→3・2 各紙社説、論説

A「**北朝鮮の核—濃縮停止から道を開け**」／「**公務員給与一次は議員歳費の削減だ**」／編集委員・大野正美「**記者有論—ロシア大統領選、多様でしなやかな民意は進化**」／「**耕論・私たちの福島—瀬谷俊雄、甘南備かほる、箭内道彦 各氏**」

M「**米朝核協議合意—さらに一步踏み込め**」／論説委員・落合 博「**視点、スポーツ振興—メダルも大事だけれど**」／「**論点・知日派の語る『3・11』後（ダニエル・カール、ピーター・バラカン、楊 逸 各氏）**」

Y「**米朝核合意—ウラン濃縮停止を見極めたい**」／「**公務員給与削減—議員も地元も足並みそろえよ**」

N「米朝合意で北の核開発を止められるか」／『官』の劣化問うた 民間事故調

T「帰宅困難者対策—情報と備蓄を最優先で」／北朝鮮 核『中断』—履行せねば支援望めぬ

H「東電福島事故1年—『原発ゼロ』の決断こそ急務

3・2 失業率悪化 4.6% (総務省発表、労働力調査) —1月の完全失業率(季節調整値)は4.6% 11年8月までは被災3県のデータ含まず(3・2A夕)

3・2 被災状況

死者 1万5854人 (前日比同じ)

行方不明 3276人 (前日比同じ)

避難者(2・23現在) 34万3935人

→3・2 M夕「特集ワイド—国内植民地を許すな—日本よ! 悲しみを越えて—作家 大城立裕さん(86)」

→3・2 Y夕「眠る『思い出』220万点、被災3県市町村 進まぬ返却—写真、トロフィー…持ち主どこに」

→3・3 A「東日本大震災1年、失業手当切れ7割 未就職—被災3県、雇用情勢厳しく」 「復興交付金、憤る被災地—初回3000億円、申請の6割のみ—事業絞ったのに、不要 不急なものない—復興相『首をひねる計画も』

／Y「沿岸被災地 沈む雇用—6万5000人職探し、失業手当切れ次々」

→3・3 M「セシウム汚染、未処理 わら6800トン—汚泥・灰 9万7000トン、埋め立て先なく」 「一時保管にも限界、放射性廃棄物 進まぬ処理—稲わら 宮城、岩手も苦悩—千葉北西部『ホットスポット』 宙に浮く汚染焼却灰—住民理解 秘策なく、環境省」

→3・3 H「原子炉監視温度計—使用可能は半分以下、福島第1原発2号機」

→3・3 A 「重要課題 先延ばし—野田政権半年、推進力衰え気味—ぶら下がり取材、首相『応じない』、内閣答弁書を閣議決定」 「総選挙後に増税賛成示唆、谷垣総裁『足 引っ張らぬ』」

→3・3 各紙社説、論説

A 「本四架橋—この失敗を繰り返すな」／「朝鮮学校—無償化の結論出すとき」
／本社主幹・若宮啓文「北方領土決着 プーチン氏意欲、ボタンかけ直す時
だ」／社会部・根岸拓朗「記者有論—原発賠償和解案、東電は受け入れ以外
ない」

M 「震災1年 ①爪痕と再出発—私たちは何を学んだか」／岩見隆夫「近聞遠
見—政界が『言うだけ番長』だ」／ローレンス・レペタ 明治大学法学部特
任教授「View Point—橋下市長は職員調査命令撤回を」

Y 「火力燃料高騰—原発再稼働で『電力不況』防げ」

N 「イラン危機回避へは日本も役割を果たせ」／「暴対法改正で市民保護徹底
を」

T 「幼保一体化—『子育てしたい』に応えよ」／「再建社長の責務—まず社会
の信頼回復を」

H 「シリアの市民弾圧—アサド政権は暴力を停止せよ」

「原発再稼働に全力」—野田首相、海外メディアに宣言

3・3 被災状況

死者 1万5854人 (前日比同じ)

行方不明 3276人 (前日比同じ)

避難者(2・23現在) 34万3935人

●野田首相、「原発再稼働に全力」(海外メディアのインタビュー)—「政治判
断して、稼働をお願いせねばならない時は、政府を挙げて 自治体の理解を得
るべく全力を尽くす」(3・4M)

●埼玉・三郷市「原発さよならデモ」(900人参加) (3・4H)

→3・4 A「若者の人口流出、深刻—岩手・宮城・福島、出生数も大幅減」 「福島第一原発『運命の日』は3月11日だった—3・14 22:50 風と雨 条件重なり 帯状に汚染—3・15 0:02 東電 全面撤退の情報官邸緊迫—3・15 4:30 危機的2号機 爆発回避は偶然?—3・15 9:00 日本の歴史が変わった日、編集委員・竹内敬二—残された3つの謎—原子炉の内部・水素ガス発生・放射能の放出—どれもいまだはっきりしていない」

→3・4 M「原発避難、特養 高齢者死亡2倍—薬、食尽き脱出 南相馬の施設、入所96人 26人死亡」 「東日本大震災1年—汚染の広がりと対策—日常奪った放射能、除染効果は限定的」

→3・4 T「がれきと格闘 全国から—愛知の業者、石巻に分別設備—行政に限界、民間企業は好機」 「戦後67年記憶—生死分けた 炎の逃げ道、津波被害 大空襲に重ね」

→3・4

各紙社説、論説

A「厚生年金基金—『代行割れ』放置するな」／「教科書採択—法の改正はど
うした」／編集委員・星 浩「政治考—国会質問34回、福島の声届け続ける
吉野氏」

M「震災1年 ②放射能との闘い—福島の再興を支えたい」／坂村 健 教授「時
代の風—プライバシー意識の変化、個人情報『晒す時代』」

Y「自民新憲法原案—『緊急事態』を軸に改正論議を」／「ピーチ航空—『格
安』に欠かせない翼の安全」／政治部次長・鳥山忠志「政なび—『脱マニフ
ェスト政治』を」

N「大震災1年・新しい日本へ—初心を貫き 町と産業を復興しよう」

T「過去への眼差し 失えば—週のはじめに考える」

H「A I J 年金消失問題—投機の餌にしたのは誰だ」